

2020年1月29日版

「医療経済評価人材育成プログラム」

医療経済評価コース

2020年度 履修手続きについて

健康マネジメント研究科

本プログラムについて

医療経済評価人材育成プログラムは、慶應義塾大学が「医薬品及び医療機器等の費用対効果評価のための人材育成プログラム開発事業」を国立医療保健科学院より受託して設立されたプログラムです。本事業において、人材育成のために設置したカリキュラムが「医療経済評価コース」です。

健康を守る医療費は9割弱が社会保険料と税という「みんなのお金」で運営されています。「みんなのお金」をどのように使って、人々の「健康」をまもっていけばよいのでしょうか？健康や医療に関するお金などの資源の使い方を研究する経済学を「医療経済学」と呼びます。その中で、医療技術の効果だけではなく費用にも注目して分析する分野を「医療の経済評価」や「費用対効果評価」と呼びます。

分析結果は、実際に政策に反映されることも少なくありません。分析だけではなく、分析結果の幅広い評価、それに続く政策的な意思決定、これら全体を「医療技術評価（Health Technology Assessment: HTA）」と呼びます。

HTAを学ぶためには医学分野だけではなく、経済学やその他の社会科学を幅広く学ぶ必要があります。本コースでは、健康マネジメント研究科を中心に、慶應義塾全体の教育資源を十分に活用し、社会の中での医療という視点を持ち、これからの医療を支えることのできる人材の教育を行います。

本コースの概要

- ◆ 「医療経済評価コース」では11科目20単位の修得により、サーティフィケート（修了証）を授与（他大学等における疫学・統計学に関する科目の修得状況により、修了要件が変更する場合があります。詳細は履修案内を参照のこと）
- ◆ 標準的な履修スケジュールでは1.5年で上記20単位の取得が可能
- ◆ 慶應義塾大学大学院生は健康マネジメント研究科に対して、当該11科目を履修申告することで履修可能
- ◆ 慶應義塾大学特別学生（科目等履修生）として、本コースを履修することも可能
- ◆ 原則として4年以内に11科目履修完了のこと

授業科目

科目名 (単位数)		主な担当者	開講日時	教室
A 疫学・統計学に関する科目群	1	基礎疫学 (2) 1年春	武林 亨 4/10, 4/17, 4/24, 5/1, 5/8, 5/15, 5/22 (金) 16時30分～19時40分	予防講堂
	2	基礎生物統計学Ⅰ (2) 1年春	杉山 大典 竹内 文乃 4/10, 4/17, 4/24, 5/1, 5/8, 5/15, 5/22 (金) 13時00分～16時15分	予防講堂
	3	基礎生物統計学Ⅱ (2) 1年春	杉山 大典 竹内 文乃 5/22, 6/5, 6/12, 6/19, 6/26, 7/3, 7/10 (金) 13時00分～16時15分	予防講堂
	4	応用生物統計学 (2) 1年秋	杉山 大典 竹内 文乃 10/1, 10/8, 10/15, 10/22, 10/29, 11/5, 11/12 (木) 13時00分～16時15分	孝養舎
B 医療経済評価に関する科目群	5	医療制度と経済学Ⅰ (2) 1年春	江面美祐紀 4/9, 4/23, 5/7, 5/21, 6/4, 6/18, 7/2 (木) 18時10分～21時20分	予防講堂
	6	医療経済学Ⅱ (2) 1年秋	河井 啓希 井深 陽子 10/1, 10/8, 10/15, 10/22, 10/29, 11/5, 11/12, 12/3, 12/10, 12/17, 12/24, 1/7, 1/14 (木) 9時00分～10時30分	孝養舎
	7	医薬経済学 (2) 1年秋	稲垣 中 特定期間集中 (水) 18時10分～21時20分	孝養舎
	8	QOLと費用の評価 (2) 1年秋	担当者調整 中 10/1, 10/15, 10/29, 11/12, 12/3, 12/17, 1/7 (木) 18時10分～21時20分	予防講堂
	9	医療経済評価特論 (1) 1年秋	江面美祐紀 冬季集中	調整中
	10	費用対効果評価演習 (2) 2年春	池田 俊也 5/12, 5/26, 6/2, 6/9, 6/16, 6/30, 7/7 (火) 18時10分～21時20分	孝養舎
	11	経済評価モデル分析演習 (1) 2年春	森脇 健介 7/4, 7/11 (土) 9時00分～16時15分	孝養舎

A. 疫学・統計学に関する科目群

1. 基礎疫学（2単位）

教授 武林 亨

疫学は、健康状態や事象を記述し分布を明らかにした上で、その決定要因やコントロール方策について検討し、実社会への適用を図るという一連のプロセスを扱う学問であり、健康を科学的に扱う際の共通基盤となる。疫学研究における観察研究および介入研究はヒトを対象とした曝露と影響の因果関係を判定するために重要な手法であり、これまで健康に関わる数多くの知見が得られて来ている。本科目は、質の高い科学的エビデンスを読み解き、また自ら作り出すための基礎力を磨き、健康を扱うために必要な論理的思考を身につけることを目的とする。公衆衛生学位取得希望者の必修科目である。

2. 基礎生物統計学Ⅰ（2単位）

教授 杉山 大典

生物統計学は、健康、医療の定量的データを扱うため必要な概念と具体的な分析手法に関する学問であり、疫学とともに、健康を科学的に扱う際の基盤的科目と位置づけられる。本科目は、初学者にも理解しやすい構成を心がけ、基礎生物統計学Ⅰおよび基礎生物統計学Ⅱを通じて、検定、推定、モデルによるデータ解析の概念を理解し、科学論文の解析手法を読み解くことができるとともに、簡単なデータ解析を自ら行えるスキルを身につける。基礎生物統計学Ⅰでは、確率と確率分布、統計量、率の標準化、推定と検定（点推定と区間推定や仮説検定の基礎）、平均値の比較（分散分析含む）、および相関と回帰などを扱う予定である。

3. 基礎生物統計学Ⅱ（2単位）

教授 杉山 大典

基礎生物統計学2では、基礎生物統計学1に引き続いて、健康・医療の研究で良く用いられている統計手法であるカテゴリカルデータの解析、ロジスティック回帰分析・生存時間分析や研究デザインを行う際に必要不可欠な検出力・例数設計などについて取り上げる。

4. 応用生物統計学（2単位）

教授 杉山 大典

本科目は、基礎生物統計学1および2を履修したのち、自らデータ解析を行って調査研究を行うための中級レベルの生物統計科目である。医学研究で良く用いられる多変数モデル(multivariable model)や多変量データの取り扱い、線形混合モデルなどを扱い、基本的には2コマで1つのトピックを扱うオムニバスの内容となる。最初の1コマ目は講義、2コマ目では実際の統計解析ソフトウェアを用い他演習を行う。

B. 医療経済評価に関する科目群

5. 医療制度とレギュラトリーサイエンス（2単位）

特任講師 江面 美祐紀

日本の医療制度は社会保障制度の一つである社会保険制度で運営されている。医療制度の中でも、医療経済評価と大きく関連するのが、医療技術や薬剤・医療機器の保険適用や価格を決める診療報酬制度や薬剤・医療機器の承認に関する薬事制度である。本科目の前半では、日本の医療制度の概要や課題、政策動向について主に政策担当者による講義を行う。また、日本の医療制度は種々の規制に立脚した制度であるが、そうした政策にはどのような科学的根拠が必要となり、政策に対する評価はどのように行われているのであろうか？後半は、これらのポイントについて様々な分野の研究者が医療に関する政策の現状と評価に関して解説する。

6. 医療経済学Ⅱ（2単位）

教授 井深 陽子
教授 河井 啓希

医療経済学の考え方を経済学を専門として来なかった学生にも理解出来るような講義を行う。前半は経済学の考え方と政策評価の方法について紹介した後に、医療問題のマクロ経済学的な分析について講義を行う。後半は、各論として医療・健康に関わる諸問題を経済学の切り口から考察する。

7. 医薬経済学Ⅱ（2単位）

特任教授 稲垣 中

医薬経済学の方法論について理論と実践の双方より講ずる。

8. QOLと費用の評価（2単位）

担当者調整中

医療経済評価における重要な評価項目であるQOLと費用の分析については、通常の疫学・公衆衛生学で取り扱われる評価項目と異なる性質を持つ。そのため、QOLについては主に計量心理学、費用については主に計量経済学の分野でそれらの特徴に応じた分析方法が開発されてきた。本講義では、QOLと費用の評価方法についての様々なトピックについて、疫学、医療技術評価の専門家のみならず、心理学・経済学等幅広い分野の専門家から学ぶ。

9. 医療経済評価特論（1単位）

特任講師 江面 美祐紀

医療経済評価では、費用やQOLを含めたアウトカムの評価方法についても、世界中で研究が行われている。一方、医療技術の費用対効果やそれ以外の特徴をどのように政策的な意思決定に用いていくかについては、各国で工夫がされている。本講義では、国内外のゲストスピーカーをお呼びして、医療経済評価に関する学術・政策の両面での最新のトピックの講義を行う。

1 0．費用対効果評価演習（2単位）

特任教授 池田 俊也

医療経済評価では、その研究結果が医療における資源配分における意思決定に用いられる可能性がある。一方、費用など通常健康分野で用いる健康関連のアウトカム以外の変数も用いて分析を行う。そのためそれぞれの研究が適切なアウトカムや費用データを用い、比較する医療技術との間の費用対効果等の経済性を適切に評価しているかを吟味することが重要である。本講義では、実際の研究論文等に個人・グループによる批判的検討を行う。

1 1．医療経済評価モデル分析演習（1単位）

非常勤講師 森脇 健介

医療経済評価では数理モデルを用いたシミュレーションが頻用される。本科目では、モデル分析で利用されるソフトウェア TreeAge Pro等を用いた演習を通じて、各種モデルの構造やパラメータの設定、アウトカムの推計方法を理解し、モデルに基づく費用効果分析の実施あるいは評価のために必要な知識・技能を習得する。

履修案内

1. 慶應義塾大学大学院生として履修を希望する場合

- 健康マネジメント研究科、医学研究科、薬学研究科、経済学研究科、経営管理研究科をはじめとするすべての研究科在籍者も通常の手続きにより履修可能です。単位の扱いは、研究科に確認してください。
- 大学院への入学については、各大学院の入学案内をご覧ください。
- 早期修了プログラムの場合はご相談ください。

2. 慶應義塾大学特別学生として、本コースのみの履修を希望する場合

- 科目等履修生の制度を活用して履修可能です。合格すれば、単位と成績を修得できます。
 - 本コースは複数年にわけて履修が可能です（最長4年間）。
 - 科目等履修生を含む特別学生は、正規学生の教育研究に支障のない範囲において登録が許可されることから、科目等履修生としての申し込みが多数の場合は、審査の上、履修の制限等の対応をする場合があります。
 - 疫学・統計学に関する科目群についてすでに他大学大学院修士課程等で履修している場合、本コースの修得に必要な知識等の一部をすでに身につけているものとみなし、プログラム修了の要件が変更となる場合があります。該当されると思われる方は、科目等履修生の第一次出願時に申告書（所定用紙）を提出し審査を受けてください。
 - 出願手続きについては、2月21日より開始します。以下をよく読んで進めてください。
すべての科目の出願は、健康マネジメント研究科にご提出ください。
- 健康マネジメント研究科特別学生について <https://www.students.keio.ac.jp/sfc/gshm/other/non-degree/>
 - 特別学生（科目等履修生・特別聴講生・研究生）募集について <https://www.students.keio.ac.jp/com/other/non-degree/>

出願手続きの概要

1. 第1次手続き

- 郵送出願に加えてWebエントリーが必要です。Webエントリー完了後に表示される「志願票」を印刷し、その他の出願書類（「第1次手続き書類」および「予備調査書」）と併せて郵送してください。
- 手続き期間：（春）2/21(金)～2/28(金) （秋）8/24(月)～8/28(金)（消印有効）
- 郵送時提出書類
 - 志願票（Webエントリー完了時に表示）
 - 第1次手続き書類（全塾共通）
 - 予備調査書（健マネ所定用紙）
 - 疫学・統計学に関する科目の取得状況申告書（本コースを受講する者のうち、修了要件変更の申請を希望する者のみ：健康マネジメント研究科所定用紙・添付書類あり）
- 登録許可は、mailにてお知らせします（本コース希望者は3月中旬送信予定）。

2. 第2次手続き

- プログラム参加者の第2次手続きは不要です。

3. 第3次手続き

- 手続き期間：（春）5/8(金)～5/14(木) （秋）10/29(木)～11/4(水)
- 登録が許可された方は、手続き期間内に必要書類を揃えて提出し、審査料、登録料および聴講料等の費用を指示された方法で納入してください。

費用（2020年度）

1. 審査料 18,000円（年度に一回のみ必要）
2. 登録料 半期（春または秋ごと） 40,000円
 年間 80,000円
3. 聴講料 1 単位 36,000円

（参考）初年度（1年目）で9科目履修した場合

	春 4科目（8単位）	秋 5科目（9単位）
1. 審査料	18,000円	不要
2. 登録料	40,000円	40,000円
3. 聴講料	288,000円	324,000円
小計	346,000円	364,000円
総計	710,000円	